

持続可能なみんなの 地域公共交通のために

今すぐ

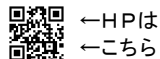
タクシー労働者へ 食える賃金を！



ATU 自交総連

タクシー・ハイヤー、バス、自動車教習所の労働組合
〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201

tel: 03-3875-8071
email: info@jikosoren.jp



←HPは
←こちら

オンライン署名も実施中

オンライン (Change.org) でも署名キャンペーンを実施しています。



左のQRコードをスマートフォンで読みこんでください。署名のHPに移動します。

高齢者らの利用に補助を

いまタクシーは、地方では最後の公共交通機関として、高齢者や免許返納者の移動に大切な足となっています。体の不自由な方や妊産婦、病気で通院している人などタクシーが欠かせない交通手段となっている人もたくさんいます。

こうした人たちがタクシーを利用しやすくなるように、国が予算を確保して、地方自治体と協力して乗合タクシー・デマンドタクシーなどを充実させ、高齢者らがタクシーを利用する際の運賃の補助を行うべきです。そうした政策で住民の自由な移動を保障し、タクシー事業も生き残ることができるようにしなければなりません。

選挙のためのばらまきを止めて。チャント現実を見てください (埼玉県)

生活が苦しい助けてほしい！ (東京都)

貯蓄した預金がすべてなくなりました (静岡県)

必死になって働いてもこの低賃金では涙も出ませんまじめに働く人が報われ、きちんと生活ができるようにしてほしいです (東京都)

働きがいのある仕事に!! 人並みの給料に!! (山梨)

現場の ナマの 声です

生活ができず借金がふえるばかり (東京都)

現状の賃金では生活できない! 大変苦しい状況である! (福島県)

長引く不況の中、生活の不安、将来の不安、先行き明かりの見えない状況です。一時金をもっと充実してもらえれば精神的に楽になると思います (東京都)

労働者の生活保障、地域公共交通維持を求める請願書を国へ提出します

タクシーへ緊急に、特別な手立てを

タクシーは、東日本大震災の時に残された唯一の公共交通機関として、燃料が切れるまで被災者の避難、救援に走りまわった。ドライバーは、自分の家族の心配をしながらも、公共交通機関のプロドライバーとしての使命感を持って輸送に携わりました。

このコロナ禍でも、濃厚接触者となった受験生を受験会場に、ワクチン接種者を接種会場に、そして体に不自由な方や妊産婦、病気で通院している人などを運びました。タクシードライバーは、エッセンシャルワーカー（人々の生活にとって必要不可欠な労働者）として、日々命をかけて奮闘しています。

タクシーは、いざというとき最後の砦となる公共交通機関です。そんな頼れるドライバーの賃金は、同じエッセンシャルワーカーと比較しても突出して低く、全産業平均と比較すると月収で十一万円もの開きがあります（左表）。

コロナ危機により、タクシーの営業収

入は激減し、歩合給（仕事の出来高や業績に応じて賃金を支払うシステム）で働くタクシー労働者の賃金も大幅に減少しました。全国で最低賃金法違反の低賃金となる労働者が続出しています。くらしにいけないので、やめる人が続出し、若いタクシー労働者はどんどんいなくなっています。タクシー事業の廃業なども多数発生しており、このままでは、地域の公共交通が運行できなくなってしまう。住民の自由な移動を保障するためには、タクシー労働者の賃金を改善する必要があります。

私たち自交総連は「タクシー労働者に食える賃金を保障しろ！」と切実な声を上げ、政府・国土交通省に、「労働者の生活保障、地域公共交通維持を求める請願書」を提出します。

自交総連ってどんな組織？

自交総連の正式名称は、「全国自動車交通労働組合総連合会」です。全国のタクシー・ハイヤー・バス・自動車教習所の労働者が加入する、労働者の立場に立つてたかう労働組合です。他産業や公務の仲間とともに全労連に加盟し、一緒に運動をしています。

自交総連は、持続可能な地域公共交通が維持できるよう国や自治体に働きかけています。タクシー産業を破壊する白タク合法化（ライドシェア）に反対し、タクシー運転者の資格を国家資格にするタクシー運転免許構想を掲げています。

